

## 患者団体との協働に関する行動指針

2013年2月：第1版

2016年6月1日改訂：社名変更

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

製薬企業の使命は、優れた医薬品を開発・供給することにより、世界の人々の福祉と医療の向上に貢献し、健康で質の高い生活の実現に寄与することです。

ブリistol・マイヤーズ スクイブ社（以下、「当社」）は、患者さんの求めるニーズや悩みを理解し、「患者参加型医療」の実現を目指し、患者団体と積極的かつ継続的に協働を図っていきます。

患者団体との協働の構築にあたっては、高い倫理性に基づいた透明性の高い企業行動を実施し、社会からの信頼と共感を得られる行動を行います。

### 1. 協働の推進

当社は、患者団体と信頼関係を図り、対等な関係を構築し、共通の目的の実現に向けてそれぞれの役割を果たします。また、特定の患者団体に偏ることなく協働します。

### 2. 患者団体の独立性の尊重

当社は、患者団体の独立性を尊重します。

### 3. 相互理解

当社は、患者団体との協働のために相互の見解や判断を尊重し、その目的と内容について十分に理解し合うよう努めます。

#### 4. 書面による合意

当社は、協働における主要な活動項目や協力関係について、患者団体と書面による合意を交わします。

#### 5. 透明性の確保

当社は、患者団体との協働にあたって、透明性を確保するとともにその情報を公開していきます。

#### 6. 製品の販売促進の禁止

当社は、患者団体への自社製品の販売促進に関する事項を扱いません。また、当社の利益のために患者団体の出版物の内容、発言等に影響力を行使することはありません。

本指針でいう患者団体とは、患者・家族その支援者が主体となって構成され、患者の声を代表し、患者・家族を支えあうとともに、療養環境の改善を目指し、原則として、定款・会則により定義された役割や目的を持つ患者会および患者支援団体をいいます。ただし、法人格の有無、設立形態は問いません。

協働とは、当社と患者団体とが、対等の立場で力を合わせて活動することです。